

科目名	国際ジャーナリズム論Ⅱ				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	2 年次
教員名	堀川 諭	単位数	2 単位		

授業概要／Course outline

春学期に学んだ国際ジャーナリズムの大枠を踏まえながら、具体的な国際問題に対する認識を深める。諸外国の政治家らの記者会見内容や国連の発表文を分析するほか、それらがメディアによってどのように切り取られているかなどについて、原文の内容も確認しながら明らかにする。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド 最近の国際ジャーナリズムの動向

直近の国際報道を確認し、その傾向を解説する。90分の動画を期末試験の1週間前までに配信する。

・実務経験のある教員による授業

国際報道経験のある教員が、英文記事独特の言葉遣いや表現の背景を説明しながら、国際ジャーナリズムに対する理解を促していきます。

授業内容・授業計画／Course description・plan

1. 北朝鮮の核・ミサイル問題

国連安全保障理事会決議を読み、法的文書の構造を学ぶ。この回は授業の最初に、この日読む英文テキストを配ります

2. 核兵器禁止条約

条文のほか、政府の立場が異なる国々のメディア報道を比較する

3. イラン核問題

国際原子力機関（IAEA）の検証内容のほか、イラン核合意から離脱した米国のトランプ大統領の発言、イラン政府の声明を読む

4. ミャンマー人権問題

イスラム系少数民族ロヒンギャ弾圧に関する国連の対応を確認する

5. 従軍慰安婦問題

国連の場で韓国や日本がどのような立場を表明しているかを押さえ、日韓メディアの報道ぶりを検証する

6. 死刑制度

国連や欧州連合（EU）がどのような立場を取っているか声明を読み込む

7. 欧州難民問題

難民受け入れに前向きだったドイツのメルケル元首相の姿勢が欧州各国メディアにどう評価されてきたか、また、その後の欧州難民問題の展開を明らかにする

8. 中間試験と振り返り

初回以降の授業内容の理解を問う記述式試験（60分）をした後、その解説（30分）を行う。

9. シリア内戦

人道危機が続いてきたシリア内戦とその後の展開に加え、関係国・国連などの取り組みを声明や記者会見から確認する

10. 「ゲーム依存」

世界保健機関（WHO）が取り組む「ゲーム依存」の問題について、声明から背景を探る

11. SDGs（持続可能な開発目標）

2015年の国連サミットで採択された、世界の開発に関する国際目標とは何かについて、文書を読んで確認する

12. 権力とメディア

米国のトランプ大統領のメディア批判とそれに対するメディアの立場を双方のやりとりから明らかにする

13. 表現の自由および、犠牲になるジャーナリストの現状

表現の自由について検討するとともに、どのような地域でどのような理由でジャーナリストが犠牲になっているかを知り、国際ジャーナリズムの使命を考える

★ オンデマンド 最近の国際ジャーナリズムの動向

直近の国際報道を確認し、その傾向を解説する。オンデマンド授業は90分の動画を期末試験の1週間前までに配信する

14. 記述テストと国際ジャーナリズム展望

理解の定着度を記述式テスト（60分）で確認するとともに、今後の国際ジャーナリズムの展望を学ぶ（30分）

第4回～第6回で「教員-学生間の対話」、第14回で「学習成果実感調査」を行う

事前・事後学習／Preparation and assignments

1. 北朝鮮の核・ミサイル問題

〔事前学習〕国連が北朝鮮に科している制裁の概要を下調べしておくこと

〔事後学習〕国連文書で使われる独特の言葉遣いを再確認しておくこと

2. 核兵器禁止条約

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、核兵器禁止条約の概要を調べておくこと

〔事後学習〕核軍縮の今後の展望について、自分の考えをまとめておくこと

3. イラン核問題

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、イラン核問題について理解を深めておくこと

〔事後学習〕イラン核問題が国際情勢に与える影響を確認しておくこと

4. ミャンマー人権問題

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、ロヒンギャ弾圧の経緯を下調べしておくこと

〔事後学習〕ロヒンギャ問題の解決がなぜ難しいか考えておくこと

5. 従軍慰安婦問題

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、慰安婦問題について理解を深めておくこと

〔事後学習〕この問題をめぐる日韓間の理解促進に向け、何が必要か自分なりに考えておくこと

6. 死刑制度

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、死刑制度をめぐる世界的な議論を下調べしておくこと

〔事後学習〕死刑制度を維持する是非について自分の考えをまとめること

7. 欧州難民問題

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、欧州難民危機の経緯を理解しておくこと

〔事後学習〕難民問題の見通しについて再確認すること

8. 中間試験と振り返り

〔事前学習〕初回以降の授業内容を振り返り、重要な論点をまとめておくこと

〔事後学習〕中間試験で十分論じきれなかった部分を整理しておくこと

9. シリア内戦

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、シリア内戦の経緯を調べておくこと

〔事後学習〕シリア内戦がなぜ長期化し、その後も国家の安定が容易でないか、背景を分析すること

10. 「ゲーム依存」

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、ゲームの依存性について考えておくこと

〔事後学習〕国際機関の政策が各国政府に与える影響を考えておくこと

11. SDGs（持続可能な開発目標）

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、SDGsが示す主な目標を調べておくこと

〔事後学習〕国際社会に対して国連が果たす役割についてまとめておくこと

12. 権力とメディア

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、トランプ氏のメディア批判の妥当性を考えておくこと

〔事後学習〕政権とメディアのあるべき関係について、考えをまとめておくこと

13. 表現の自由および、犠牲になるジャーナリストの現状

〔事前学習〕英文テキストを読むとともに、表現の自由およびジャーナリストが直面する危険について考えておくこと

〔事後学習〕加盟各国の人権状況などを調べる国連人権理事会の仕組みを確認しておくこと

★ オンデマンド 最近の国際ジャーナリズムの動向

〔事前学習〕最近の国際ニュースをチェックし、取り上げられ方やその内容の傾向を整理しておくこと

〔事後学習〕国際ジャーナリズムの全体的な特徴を改めてまとめておくこと

14. 記述テストと国際ジャーナリズム展望

〔事前学習〕初回以降に扱ったテーマとジャーナリズムの関係を復習しておくこと

〔事後学習〕特に関心を持ったテーマを掘り下げて調べておくこと

事前学習の所要時間の目安は各授業90分、事後学習の所要時間の目安も各授業90分である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

担当教員はマスメディアの海外特派員経験を有している。国際ジャーナリズムの現場についての理解を深めることを大きな目標とする。

1. 国際ニュースに対する理解を深め、説明できるようになる。
2. 英文記事や英文の政府発表文を読解、高度な情報収集ができるようになる。
3. 世の中の出来事に対し、自分の考えを持ち、発信できるようになる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|---------|-------------------|
| ・ 思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・ 幅広い教養 | 【外国語学部 ヨーロッパ言語学科】 |
| | ・ 異文化理解 |
| | ・ 世界情勢と学習言語圏の理解 |

履修上の注意／Special notes, cautions

国際ニュースに興味を持っていること。英文テキストも用います。ただ、英語の授業ではありませんので、身構える必要はありません。授業の中で、学生に訳してもらうつもりはありません。英文の内容は私が解説します。

評価方法／Evaluation

授業への取り組み姿勢（約60%）、記述試験（計約40%）で総合評価します。授業内での討論も重んじるため、出席回数を含めた授業への取り組みを重視します。

教 材／Text and materials

授業の際に、次の回の英文テキストを配布します。

質問や相談の方法／Instructor contact

研究室：第2研究室棟529 オフィスアワー：火曜2限
メールアドレスはmoodleに記載します。